

## 資 料 編

1	測定データ資料	22
(1)	空間放射線量率	22
ア	月間測定値	22
イ	1 か月間平均値の推移	23
ウ	線量率（10 分間平均値）と降雨量の時系列グラフ	25
エ	線量率（1 時間平均値）と降雨量の時系列グラフ	29
(2)	環境試料中の放射能	33
ア	大気中浮遊塵の全 $\alpha$ 放射能・全 $\beta$ 放射能	33
イ	核種分析	35
(ア)	機器分析（ $\gamma$ 線放出核種）	35
(イ)	放射性ストロンチウム分析（ストロンチウム 90）	40
(3)	排水の全計数率	41
ア	月間測定値	41
イ	全計数率と降雨量の時系列グラフ	42
(4)	補足参考測定	43
(5)	バックグラウンド測定	47
付表	測定器の種類	49
2	平常の変動幅の上限逸脱に係る原因調査報告（空間放射線量率） （静岡県環境放射線監視センター及び中部電力㈱浜岡原子力発電所）	50
3	平常の変動幅の下限逸脱に係る原因調査報告（空間放射線量率） （中部電力㈱浜岡原子力発電所）	53
4	平常の変動幅の上限逸脱に係る原因調査報告（環境試料中の放射能） （静岡県環境放射線監視センター及び中部電力㈱浜岡原子力発電所）	55
5	平常の変動幅の上限逸脱に係る原因調査報告（排水の全計数率） （中部電力㈱浜岡原子力発電所）	58
6	松葉採取地点（御前崎市池新田）の試料採取一時中止に係る報告 （静岡県環境放射線監視センター及び中部電力㈱浜岡原子力発電所）	61
7	大気中水分トリチウムの捕集カラムの破損事象に係る報告 （静岡県環境放射線監視センター）	63
8	令和 4 年度第 3 四半期浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定結果速報 （静岡県環境放射線監視センター及び中部電力㈱浜岡原子力発電所）	67
9	令和 4 年度浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定計画	71
10	浜岡原子力発電所周辺環境放射能測定に係る測定法及び評価方法	79
11	令和 4 年度の平常の変動幅	97
12	浜岡原子力発電所の運転状況等（中部電力株式会社）	103
13	浜岡原子力発電所内モニタ測定結果（中部電力株式会社）	105

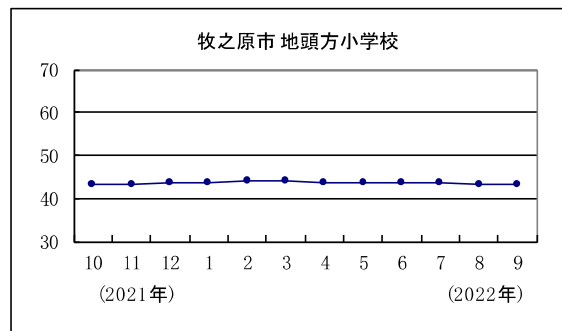
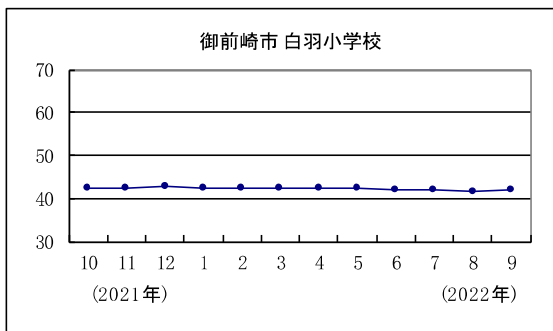
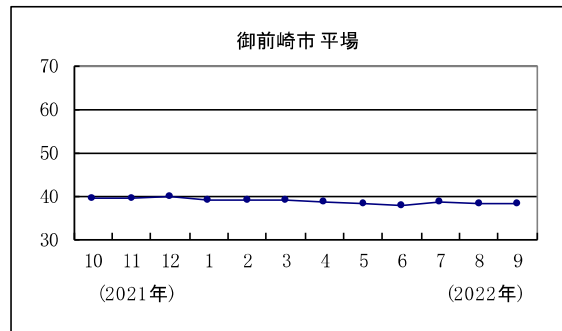
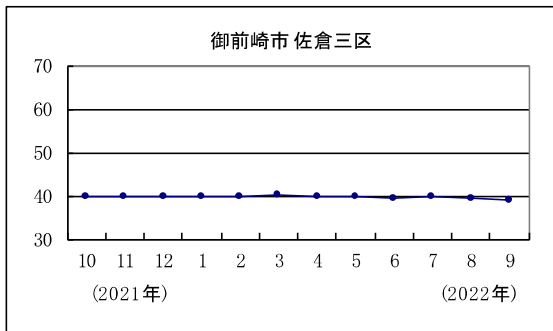
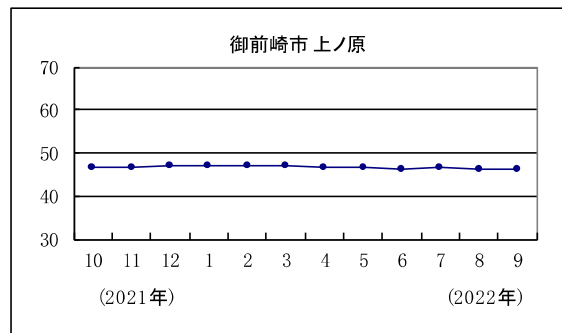
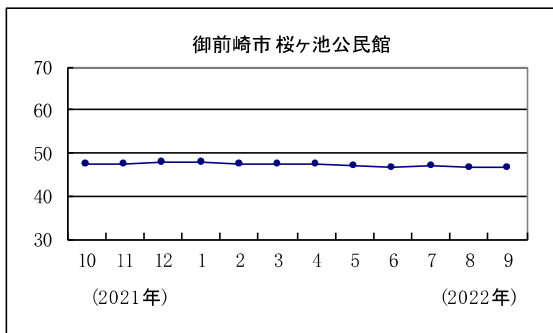
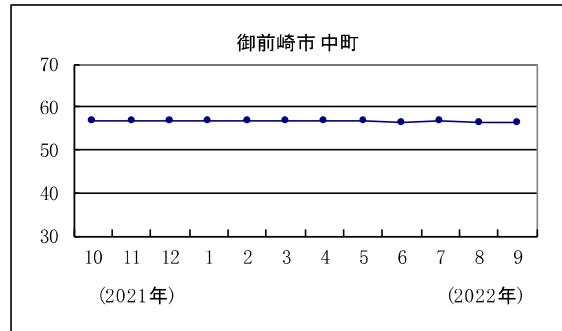
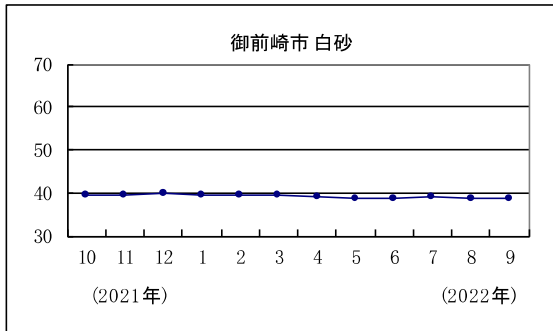
1 測定データ資料  
 (1) 空間放射線量率  
 ア 月間測定値

単位：nGy/h

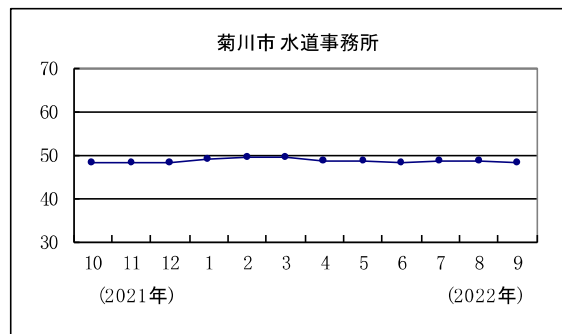
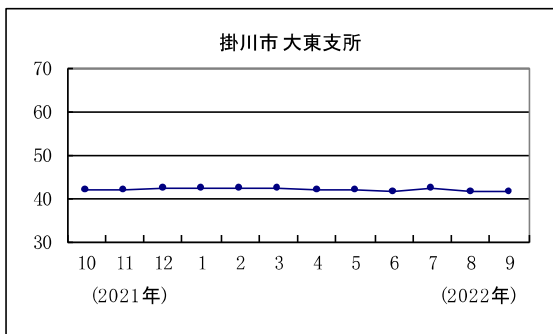
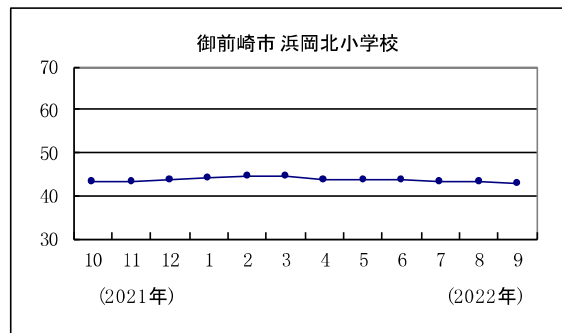
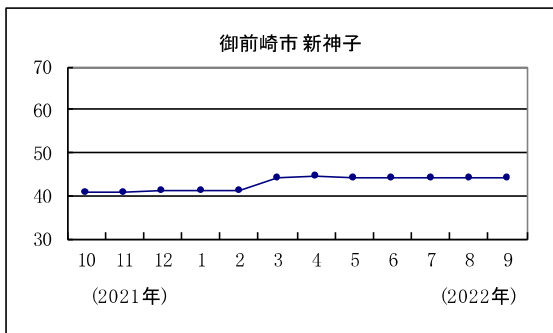
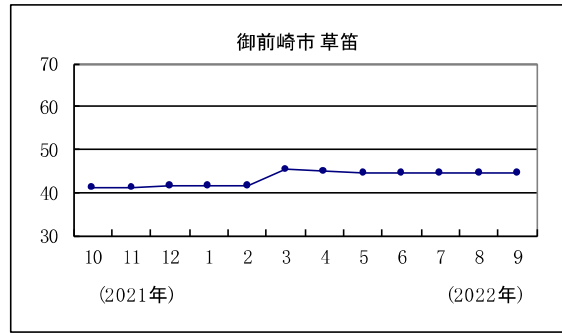
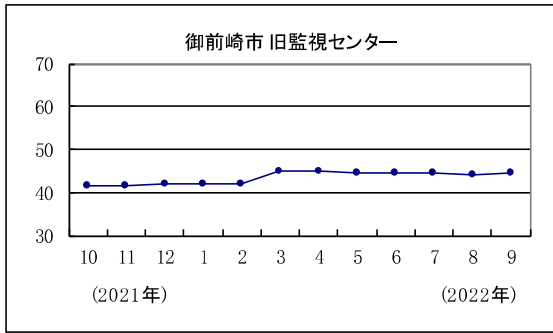
測定地点名	月	平均値	10 分間平均値		1 時間平均値	
			最小値	最大値	最小値	最大値
白 砂 (御前崎市)	7 月	39	36	80	36	75
	8 月	39	36	75	36	65
	9 月	38	36	60	37	58
中 町 (御前崎市)	7 月	57	49	86	49	81
	8 月	56	53	81	53	75
	9 月	56	52	72	53	71
桜ヶ池公民館 (御前崎市)	7 月	47	45	81	45	78
	8 月	47	44	75	45	69
	9 月	47	45	65	45	64
上ノ原 (御前崎市)	7 月	47	44	81	44	80
	8 月	46	44	81	44	72
	9 月	46	44	67	44	66
佐倉三区 (御前崎市)	7 月	40	37	77	37	72
	8 月	39	37	73	37	66
	9 月	39	37	59	37	58
平 場 (御前崎市)	7 月	38	36	73	36	70
	8 月	38	36	72	36	61
	9 月	38	36	59	36	58
白羽小学校 (御前崎市)	7 月	42	40	67	40	66
	8 月	42	40	68	40	62
	9 月	42	39	63	40	60
地頭方小学校 (牧之原市)	7 月	44	41	74	41	70
	8 月	43	41	67	41	62
	9 月	43	41	61	42	60
旧監視センター (御前崎市)	7 月	45	42	78	43	73
	8 月	44	42	71	43	65
	9 月	44	42	62	43	61
草 笛 (御前崎市)	7 月	45	42	77	43	74
	8 月	45	42	75	43	69
	9 月	45	43	62	43	61
新神子 (御前崎市)	7 月	44	41	82	42	79
	8 月	44	41	81	42	70
	9 月	44	41	66	42	64
浜岡北小学校 (御前崎市)	7 月	43	41	75	41	72
	8 月	43	39	71	40	65
	9 月	43	40	62	41	60
大東支所 (掛川市)	7 月	42	40	69	40	66
	8 月	42	39	59	40	55
	9 月	42	40	58	40	54
菊川市 水道事務所 (菊川市)	7 月	49	46	68	46	67
	8 月	48	46	70	46	66
	9 月	48	46	61	46	59

# イ 1 か月間平均値の推移

単位 nGy/h

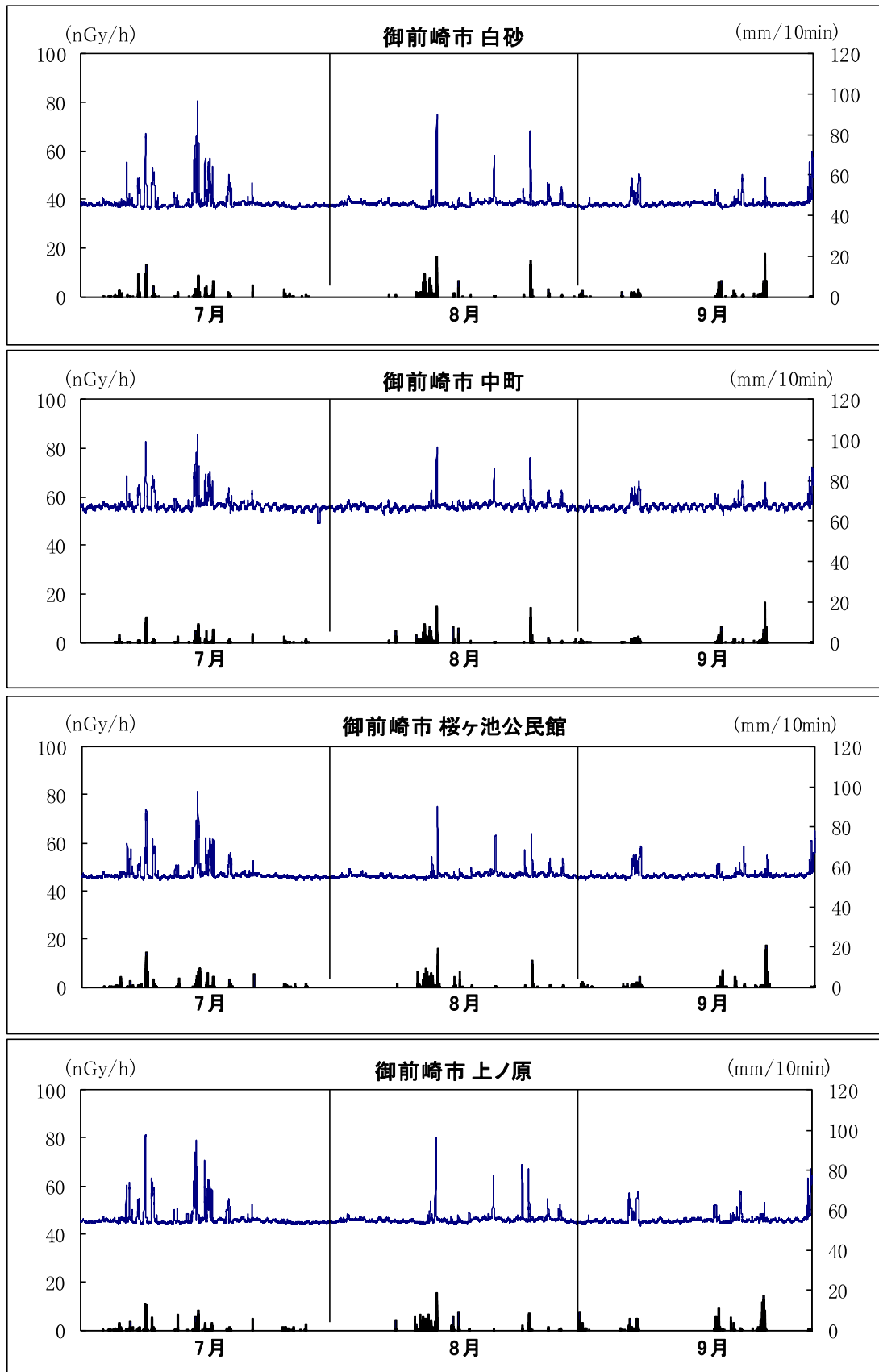


単位：nGy/h

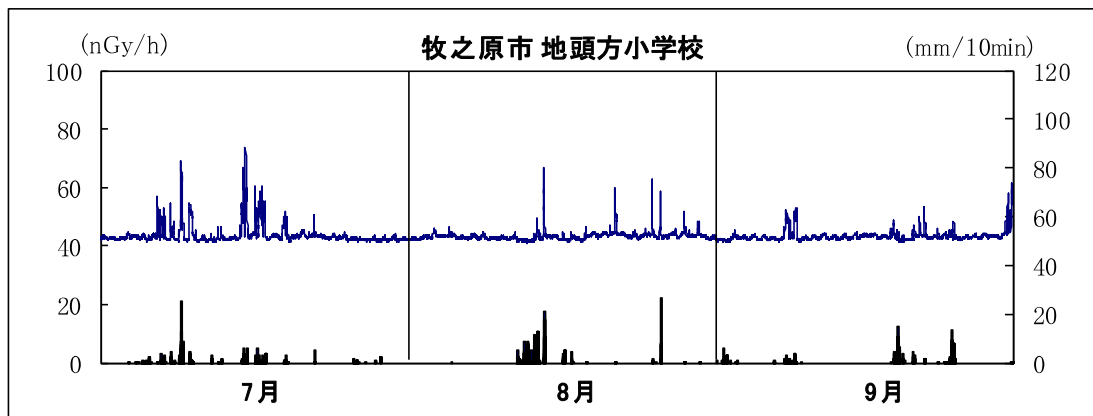
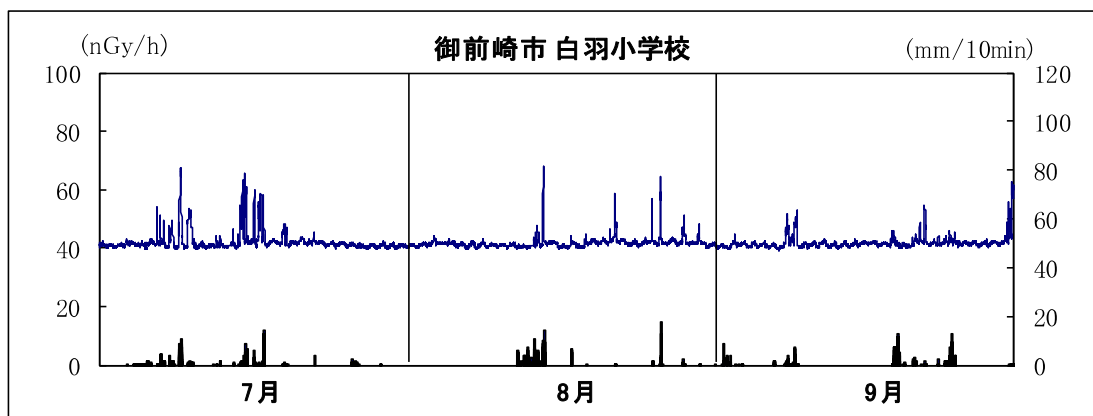
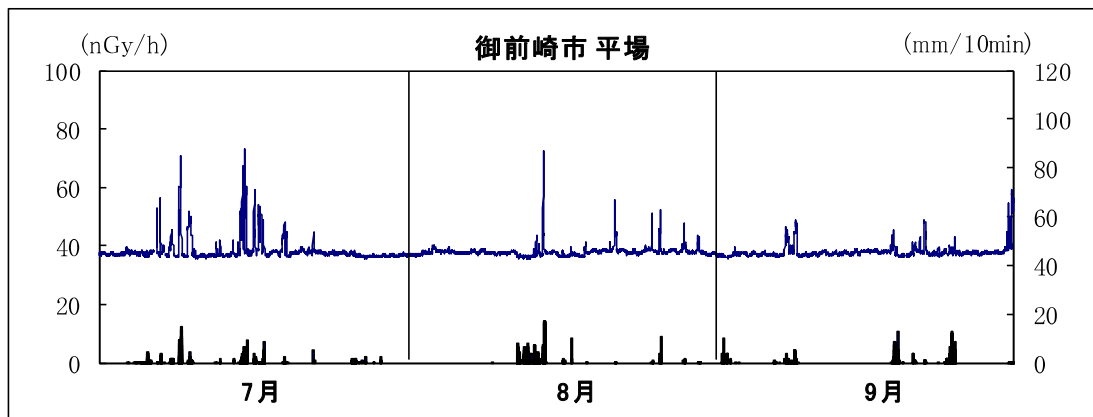
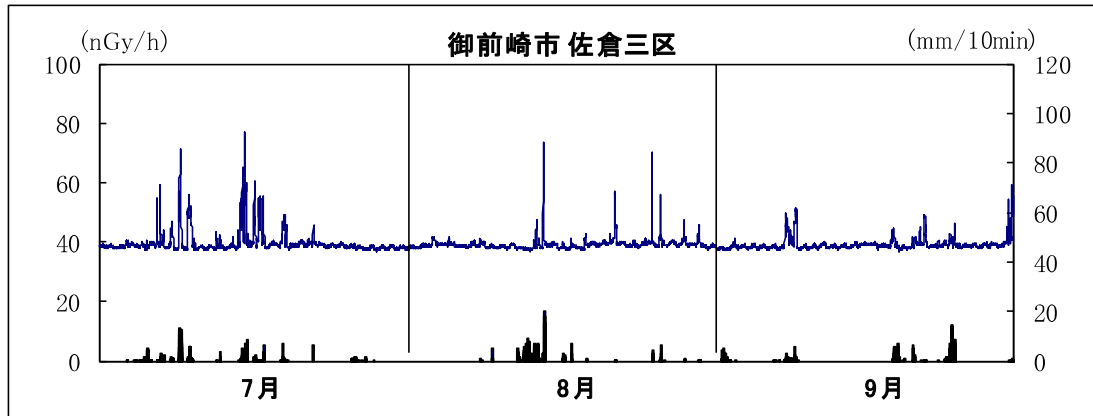


## ウ 線量率（10 分間平均値）と降雨量の時系列グラフ

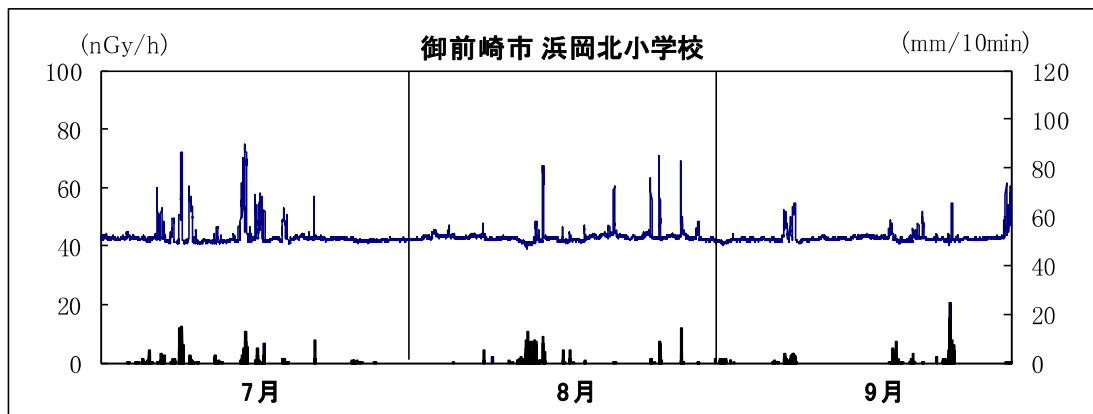
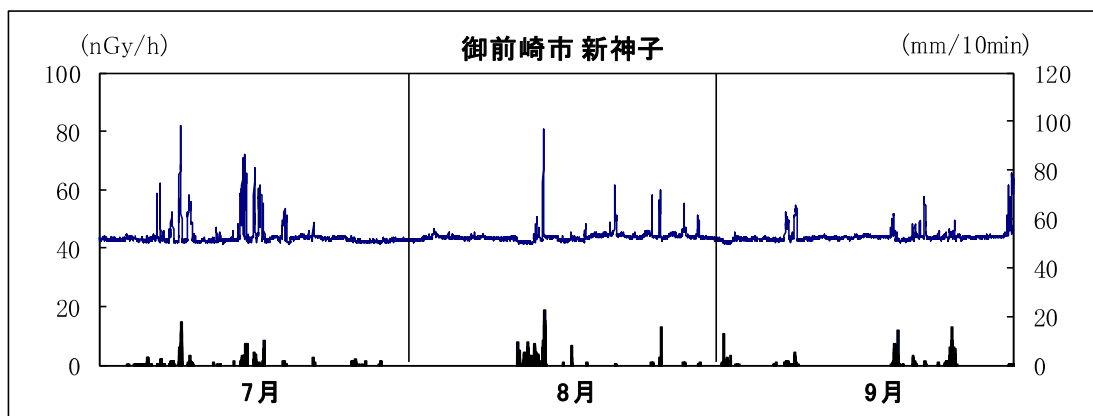
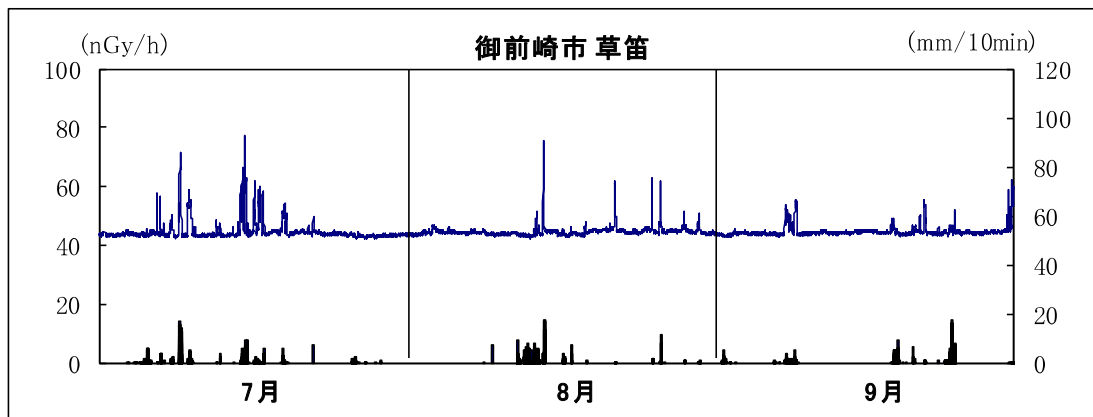
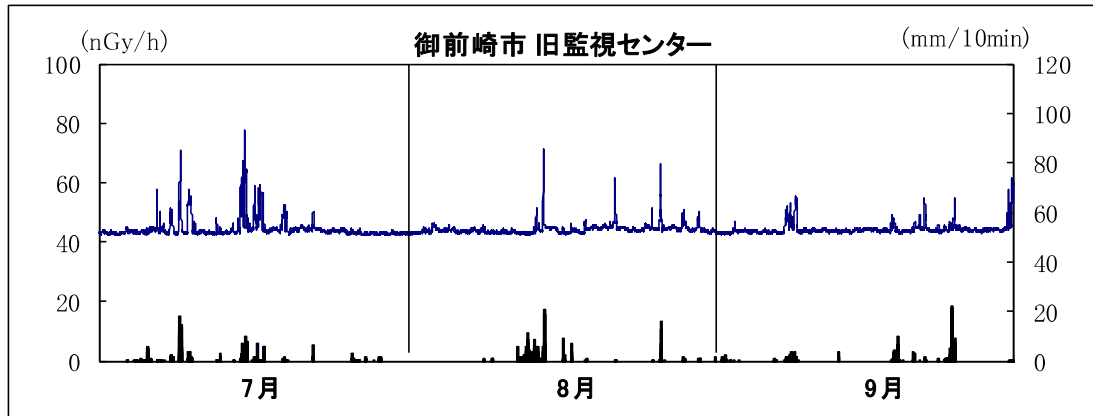
(注) 降雨が無い場合に線量率の上昇が見られているものは特に断りのない限り「感雨」が観測されている。



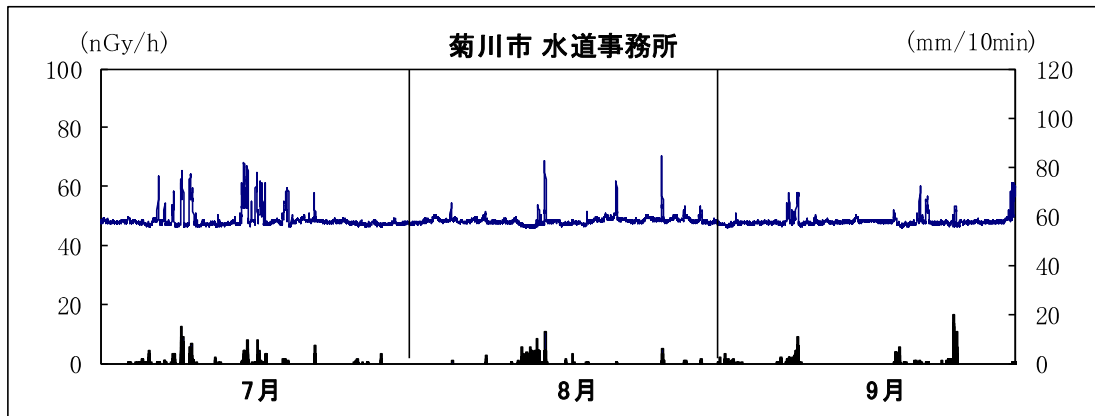
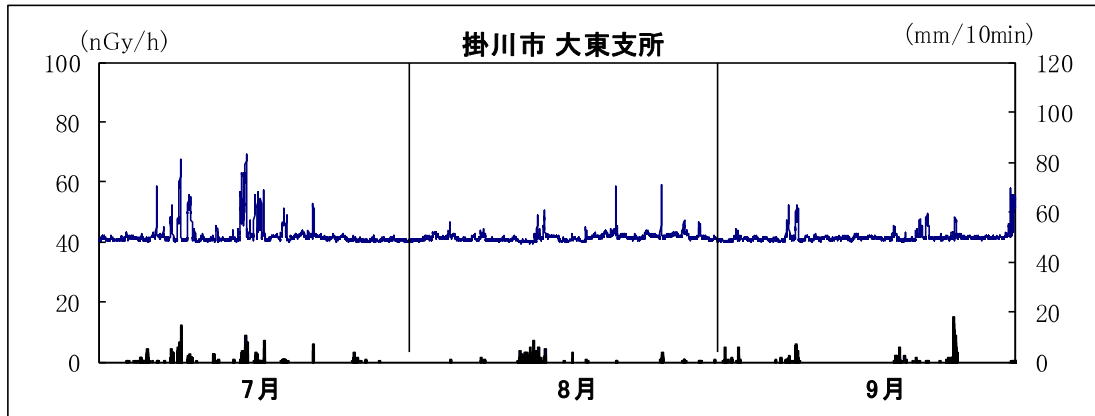
※上線は線量率, 下線は降雨量



※上線は線量率, 下線は降雨量



※上線は線量率, 下線は降雨量

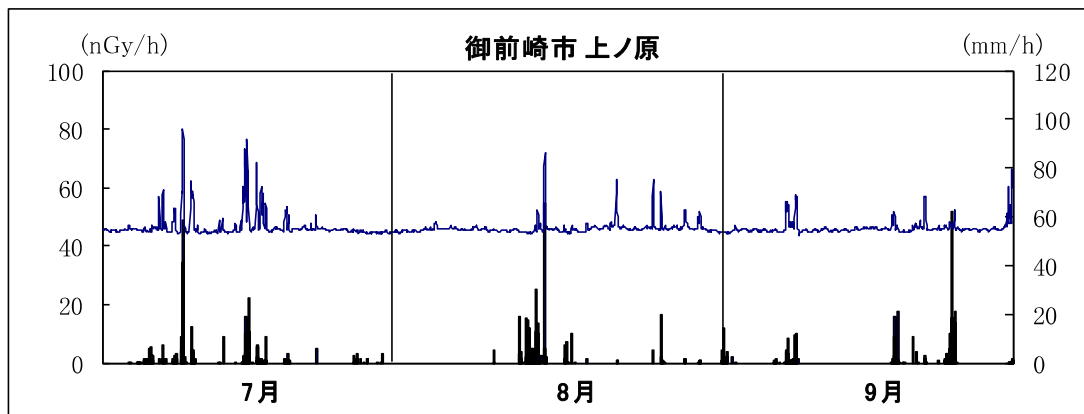
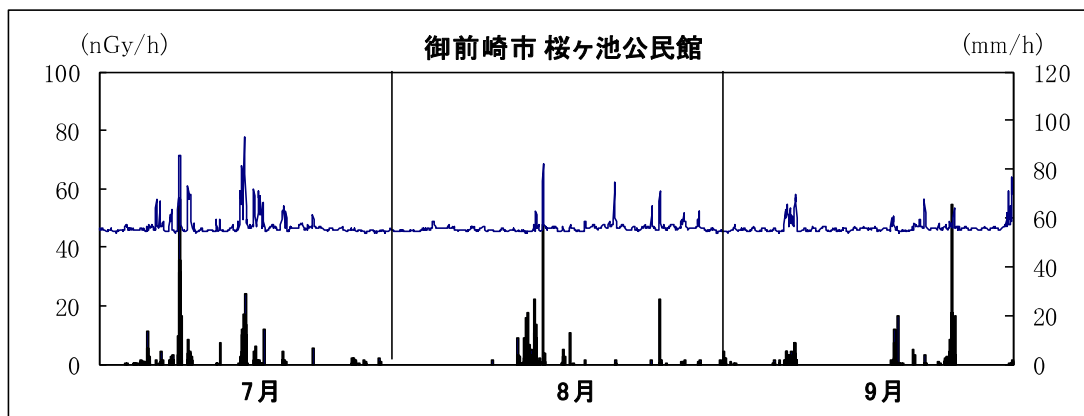
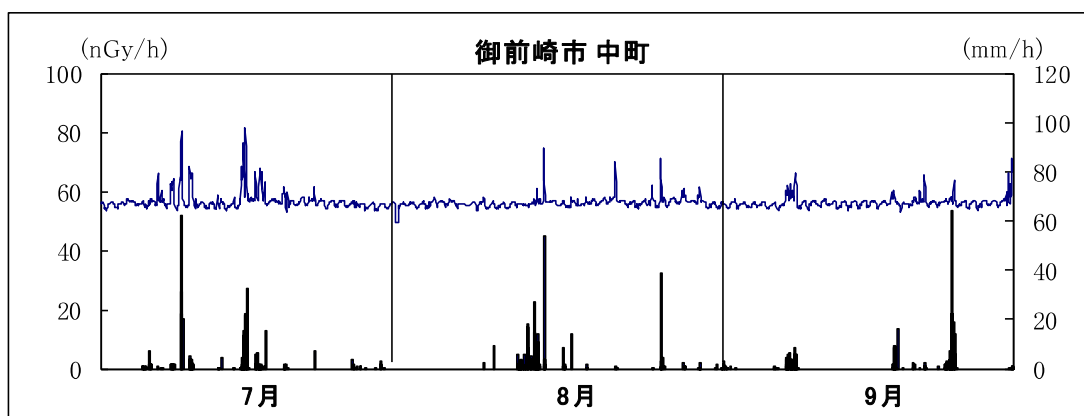
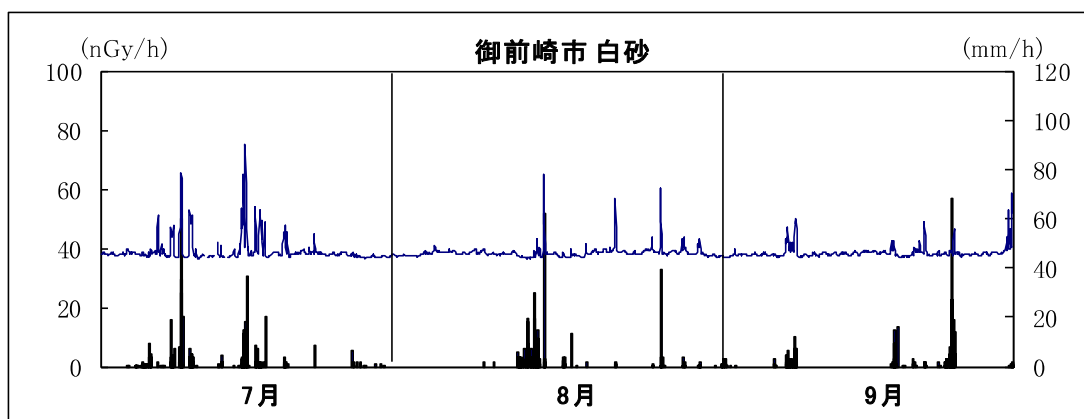


※上線は線量率, 下線は降雨量

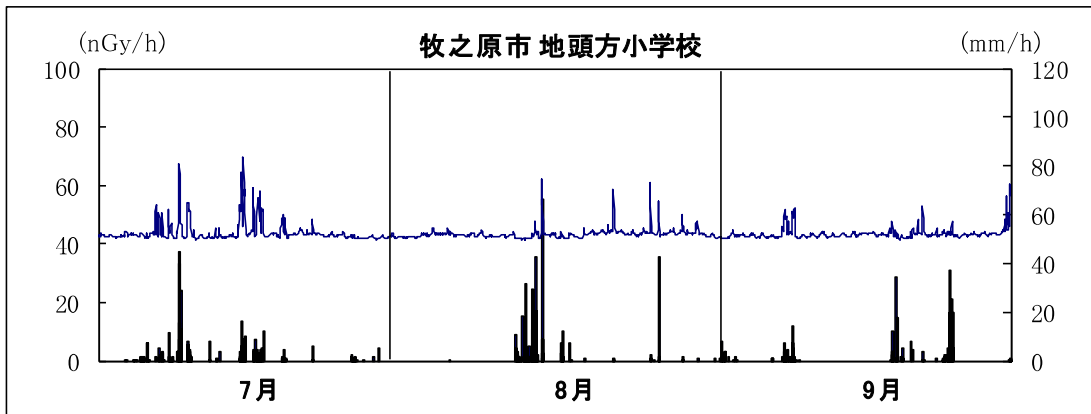
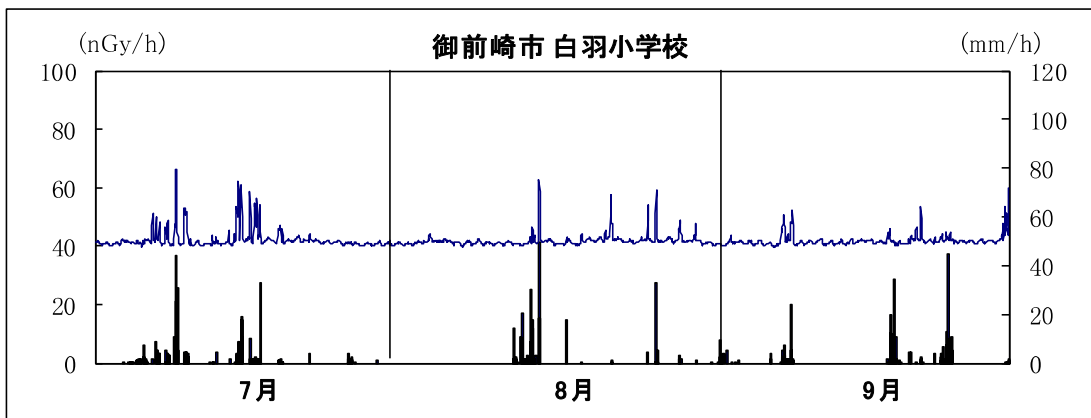
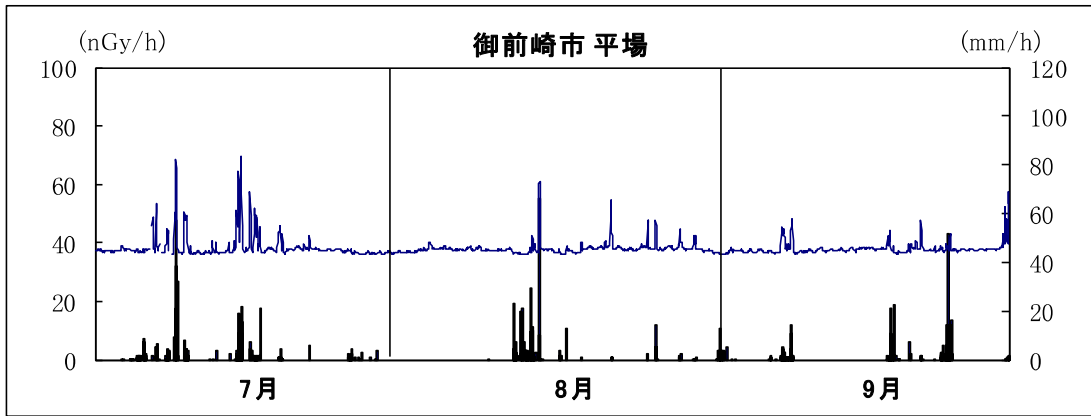
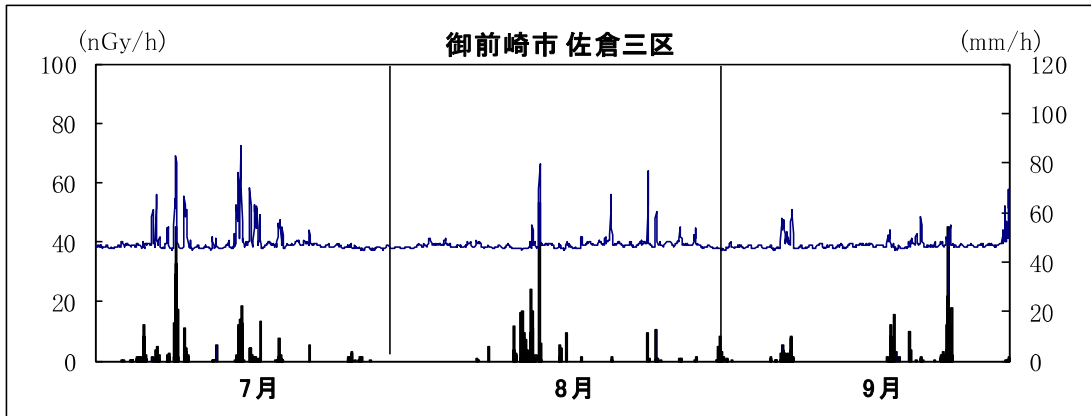


## エ 線量率（1時間平均値）と降雨量の時系列グラフ

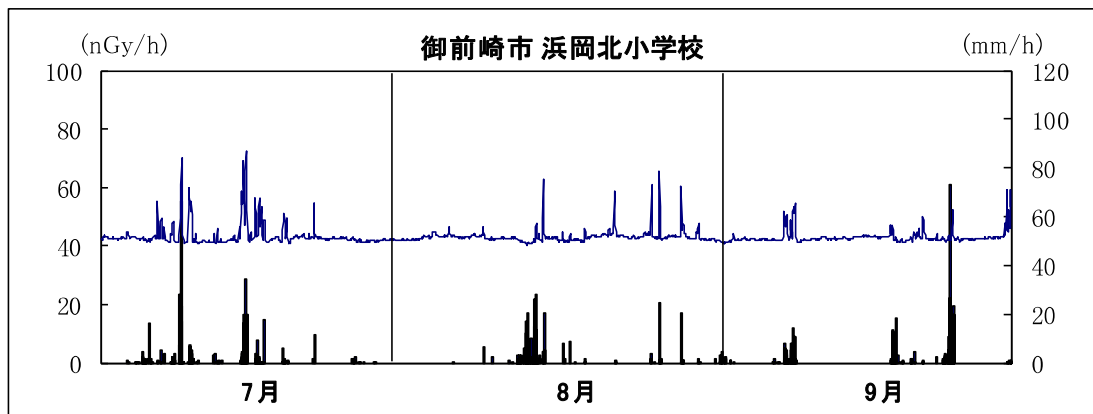
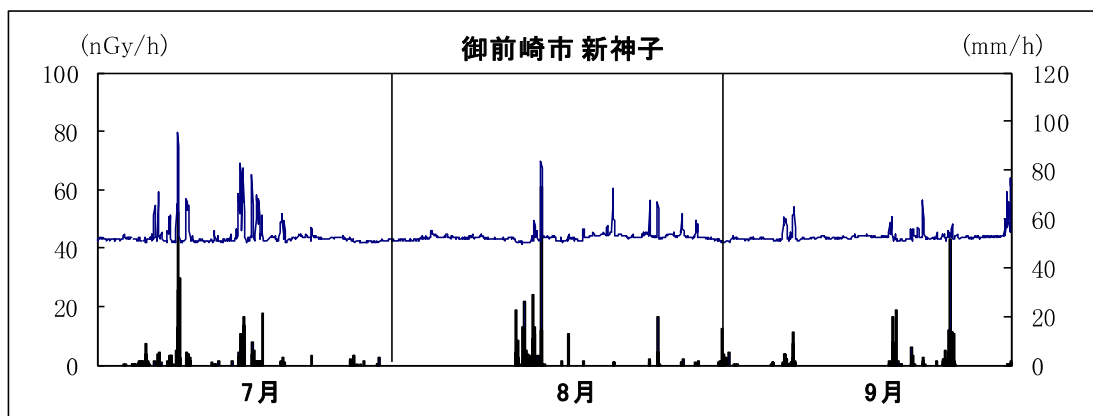
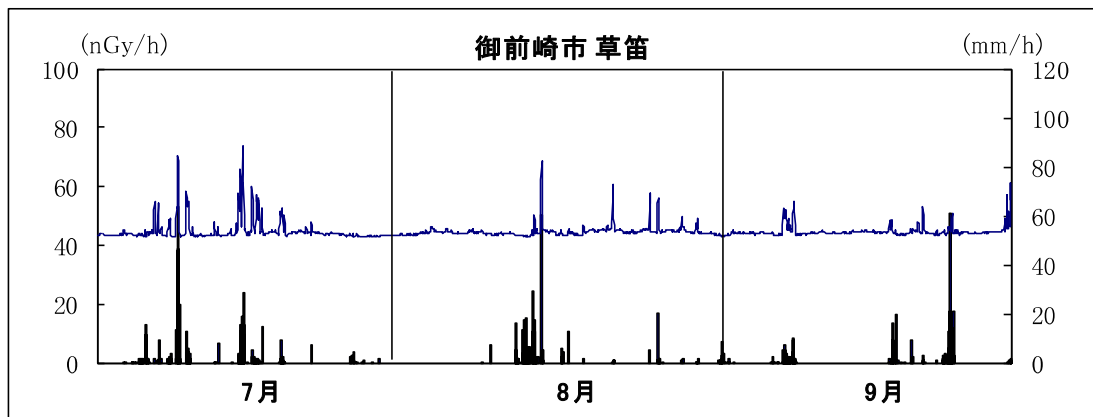
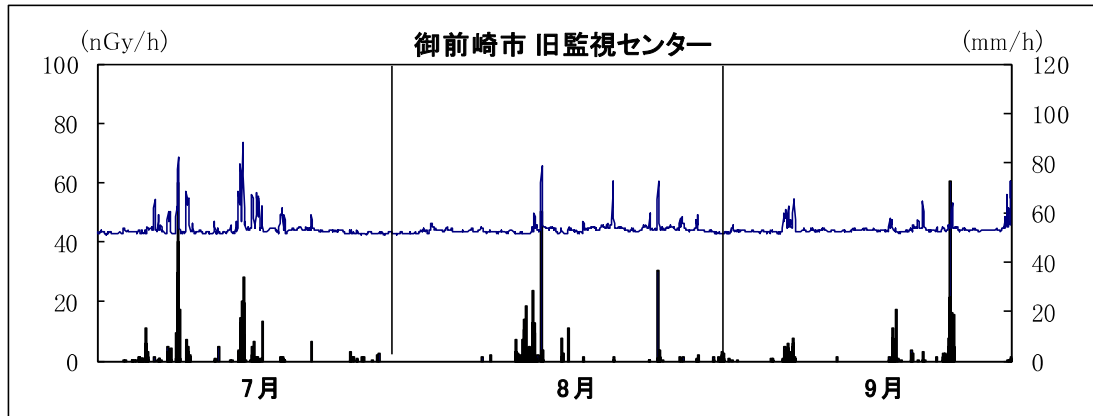
(注) 降雨が無い場合に線量率の上昇が見られているものは特に断りのない限り「感雨」が観測されている。



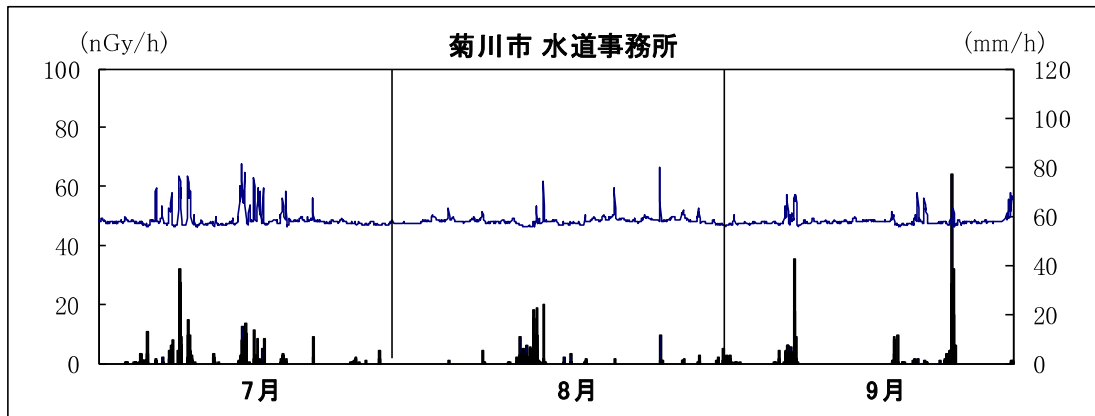
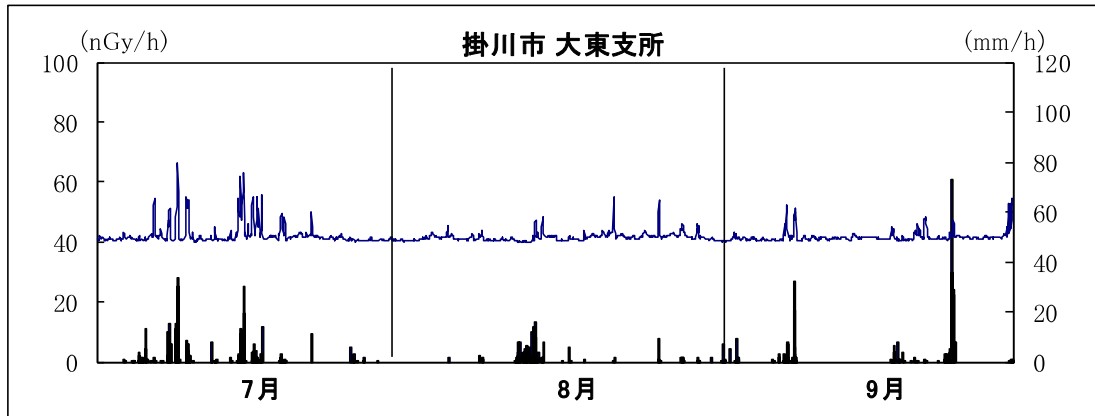
※上線は線量率, 下線は降雨量



※上線は線量率, 下線は降雨量



※上線は線量率, 下線は降雨量



※上線は線量率, 下線は降雨量

(2) 環境試料中の放射能

ア 大気中浮遊塵の全 $\alpha$ 放射能・全 $\beta$ 放射能

(7) 集塵中全 $\alpha$ 放射能・全 $\beta$ 放射能比

単位：－

測定地点名	月	平均値	最大値
白砂 (御前崎市)	7月	3.7	4.7
	8月	3.5	4.4
	9月	3.4	4.0
中町 (御前崎市)	7月	2.3	9.0
	8月	2.1	2.9
	9月	2.5	3.2
平場 (御前崎市)	7月	3.7	4.6
	8月	3.6	4.3
	9月	3.5	4.1

測定地点名	月	平均値	最大値
白羽小学校 (御前崎市)	7月	2.9	3.9
	8月	2.8	3.4
	9月	2.7	4.5
地頭方小学校 (牧之原市)	7月	2.5	3.1
	8月	2.5	3.1
	9月	2.4	3.2

(4) 集塵中の全 $\beta$ 放射能

単位：Bq/m<sup>3</sup>

測定地点名	月	最小値	最大値
白砂 (御前崎市)	7月	* <sup>1)</sup>	6.3
	8月	*	10
	9月	*	4.6
検出限界値		0.049～0.29 <sup>2)</sup>	
中町 (御前崎市)	7月	*	7.0
	8月	*	9.5
	9月	*	4.3
検出限界値		0.053～0.32	
平場 (御前崎市)	7月	*	6.2
	8月	*	10
	9月	*	4.0
検出限界値		0.053～0.32	

測定地点名	月	最小値	最大値
白羽小学校 (御前崎市)	7月	*	5.3
	8月	*	8.2
	9月	*	3.9
検出限界値		0.049～0.29	
地頭方小学校 (牧之原市)	7月	*	5.8
	8月	*	7.5
	9月	*	3.9
検出限界値		0.054～0.32	

注1) 「\*」は、「検出限界未満」を示す。

注2) 算出に用いる積算流量が、測定時間(1～6時間)ごとに変化するため、検出限界値には幅がある。

(ウ) (参考) 集塵終了6時間後の全β放射能

単位：Bq/m<sup>3</sup>

測定地点名	月	最小値	最大値
白砂 (御前崎市)	7月	* <sup>1)</sup>	0.14
	8月	*	0.15
	9月	*	0.12
	検出限界値		0.024
中町 (御前崎市)	7月	*	0.12
	8月	*	0.13
	9月	*	0.11
	検出限界値		0.026
平場 (御前崎市)	7月	*	0.090
	8月	*	0.13
	9月	*	0.082
	検出限界値		0.026

測定地点名	月	最小値	最大値
白羽小学校 (御前崎市)	7月	*	0.075
	8月	*	0.11
	9月	*	0.059
	検出限界値		0.025
地頭方小学校 (牧之原市)	7月	*	0.14
	8月	*	0.13
	9月	*	0.095
	検出限界値		0.025

注1) 「\*」は、「検出限界未満」を示す。

イ 核種分析

(7) 機器分析 (γ線放出核種)

a 大気中浮遊塵

単位：mBq/m<sup>3</sup>

採取地点名	採取期間	<sup>60</sup> Co	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	その他 <sup>1)</sup>	<sup>7</sup> Be <sup>2)</sup>
御前崎市 白砂	R4年7月1日 ～R4年7月31日	* <sup>3)</sup> (0.0100) <sup>4)</sup>	*	*	*	1.92 (0.19)
	R4年8月1日 ～R4年8月31日	*	*	*	*	2.52 (0.22)
	R4年9月1日 ～R4年10月2日	*	*	*	*	4.26 (0.26)
御前崎市 中町	R4年7月1日 ～R4年7月31日	*	*	*	*	1.54 (0.14)
	R4年8月1日 ～R4年8月31日	*	*	*	*	1.99 (0.16)
	R4年9月1日 ～R4年10月2日	*	*	*	*	3.54 (0.20)
御前崎市 平場	R4年7月1日 ～R4年7月31日	*	*	*	*	2.07 (0.19)
	R4年8月1日 ～R4年8月31日	*	*	*	*	2.69 (0.21)
	R4年9月1日 ～R4年10月2日	*	*	*	*	4.61 (0.26)
御前崎市 白羽小学校	R4年7月1日 ～R4年7月31日	*	*	*	*	1.52 (0.16)
	R4年8月1日 ～R4年8月31日	*	*	*	*	2.08 (0.19)
	R4年9月1日 ～R4年10月2日	*	*	*	*	3.37 (0.19)
牧之原市 地頭方小学校	R4年7月1日 ～R4年7月31日	*	*	*	*	1.68 (0.15)
	R4年8月1日 ～R4年8月31日	*	*	*	*	2.11 (0.16)
	R4年9月1日 ～R4年10月2日	*	*	*	*	3.89 (0.24)

注1) 「その他」は、コバルト60、セシウム134及びセシウム137以外の人工放射性核種を示す。

注2) ベリリウム7は、自然放射性核種である。

注3) 「\*」は、「検出されず」を示す。

注4) ( )内は、検出下限値を示す。

## b 陸水

単位：mBq/L

試料名	採取地点名	採取年月日	測定機関	<sup>60</sup> Co	<sup>131</sup> I	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	その他 <sup>1)</sup>	<sup>40</sup> K <sup>2)</sup>
上水	御前崎市 市役所 (大井川広域水道)	R4年7月8日	県	* <sup>3)</sup> (1.4) <sup>4)</sup>	*	*	*	*	25 (16)
			中電	*	*	*	*	*	24 (17)
	御前崎市 新神子 (県営榎南水道及び 大井川広域水道混合水)	R4年7月8日	県	*	*	*	*	*	35 (15)
			中電	*	*	*	*	*	28 (20)

注1) 「その他」は、コバルト 60、ヨウ素 131、セシウム 134 及びセシウム 137 以外の人工放射性核種を示す。

注2) カリウム 40 は、自然放射性核種である。

注3) 「\*」は、「検出されず」を示す。

注4) ( ) 内は、検出下限値を示す。

## c 土壌

単位：Bq/kg 乾土

試料名	採取地点名	採取年月日	測定機関	<sup>60</sup> Co	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	その他 <sup>1)</sup>	<sup>40</sup> K <sup>2)</sup>
土壌	御前崎市 下朝比奈	R4年9月5日	県	* <sup>3)</sup> (0.82) <sup>4)</sup>	*	5.9 (1.0)	*	550 (31)
			中電	*	*	5.6 (1.3)	*	590 (34)
	御前崎市 新神子	R4年9月5日	県	*	*	2.8 (0.76)	*	502 (29)
			中電	*	*	3.1 (0.74)	*	526 (27)
	御前崎市 比木	R4年9月5日	県	*	*	2.0 (0.75)	*	620 (33)
			中電	*	*	2.0 (1.1)	*	660 (39)
	牧之原市 笠名	R4年9月5日	県	*	*	8.1 (1.1)	*	630 (32)
			中電	*	*	9.6 (1.4)	*	670 (36)

注1) 「その他」は、コバルト 60、セシウム 134 及びセシウム 137 以外の人工放射性核種を示す。

注2) カリウム 40 は、自然放射性核種である。

注3) 「\*」は、「検出されず」を示す。

注4) ( ) 内は、検出下限値を示す。



d 農畜産物

単位：Bq/kg 生

試料名	採取地点名	採取年月日	測定機関	<sup>60</sup> Co	<sup>131</sup> I	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	その他 <sup>1)</sup>	<sup>40</sup> K <sup>2)</sup>
すいか	御前崎市 中原	R4年7月8日	県	* <sup>3)</sup> (0.014) <sup>4)</sup>		*	*	*	36.1 (0.78)
			中電	* (0.015)		*	*	*	40.1 (0.83)
かんしょ	御前崎市 新神子	R4年9月27日	県	* (0.029)		*	0.051 (0.018)	*	107.7 (1.7)
			中電	* (0.025)		*	0.039 (0.020)	*	89.1 (1.4)
原乳	掛川市 下土方	R4年8月5日	県	* (0.019)	* <sup>5)</sup> (0.088)	*	*	*	45.6 (1.0)
			中電	* (0.017)	* (0.077)	*	*	*	46.7 (0.92)
	菊川市 嶺田	R4年7月20日	県	* (0.018)	*	*	*	*	44.6 (1.0)
			中電	* (0.024)	* (0.079)	*	*	*	45.7 (1.1)

注1) 「その他」は、コバルト60、ヨウ素131、セシウム134及びセシウム137以外の人工放射性核種を示す。

注2) カリウム40は、自然放射性核種である。

注3) 「\*」は、「検出されず」を示す。

注4) ( )内は、検出下限値を示す。

注5) 原乳のヨウ素131の単位は、Bq/Lである。

○ 海底土

単位：Bq/kg 乾土

採取地点名	採取年月日	測定機関	<sup>60</sup> Co	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	その他 <sup>1)</sup>	<sup>40</sup> K <sup>2)</sup>
菊川河口	R4年 8月 2日	県	* <sup>3)</sup> (0.79) <sup>4)</sup>	*	*	*	600 (31)
		中電	* (0.72)	*	*	*	650 (30)
高松沖	R4年 8月 2日	県	*	*	*	*	590 (30)
		中電	* (0.59)	*	*	*	620 (27)
尾高漁場	R4年 8月 2日	県	*	*	*	*	620 (32)
		中電	* (0.72)	*	*	*	650 (31)
中根礁	R4年 8月 2日	県	*	*	*	*	566 (28)
		中電	* (0.64)	*	*	*	591 (27)
御前崎港	R4年 8月 2日	県	*	*	1.3 (0.63)	*	670 (33)
		中電	* (0.83)	*	1.4 (0.84)	*	680 (34)
浅根漁場	R4年 8月 2日	県	*	*	*	*	650 (31)
		中電	* (0.72)	*	*	*	690 (32)
1,2号機 放水口付近	R4年 8月 2日	県	*	*	*	*	570 (31)
		中電	* (0.71)	*	*	*	630 (30)
取水口付近	R4年 8月 2日	県	*	*	*	*	596 (29)
		中電	* (0.73)	*	*	*	630 (31)
3号機及び 4号機 放水口付近	R4年 8月 2日	県	*	*	*	*	600 (31)
		中電	* (0.67)	*	*	*	650 (29)
5号機放水 口付近	R4年 8月 2日	県	*	*	*	*	532 (29)
		中電	* (0.65)	*	*	*	565 (28)

注1) 「その他」は、コバルト60、セシウム134及びセシウム137以外の人工放射性核種を示す。

注2) カリウム40は、自然放射性核種である。

注3) 「\*」は、「検出されず」を示す。

注4) ( )内は、検出下限値を示す。

**f 海産生物**

単位：Bq/kg 生

試料名	採取地点名	採取年月日	測定機関	<sup>60</sup> Co	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	その他 <sup>1)</sup>	<sup>40</sup> K <sup>2)</sup>
しらす	御前崎港	R4年 8月 22日	県	* <sup>3)</sup> (0.035) <sup>4)</sup>	*	0.038 (0.020)	*	78.1 (1.9)
			中電	*	*	0.057 (0.028)	*	92.3 (2.0)
かき	尾高漁場	R4年 7月 23日	県	*	*	*	*	54.4 (2.9)
			中電	*	*	*	*	55.3 (2.8)

注1) 「その他」は、コバルト 60、セシウム 134 及びセシウム 137 以外の人工放射性核種を示す。

注2) カリウム 40 は、自然放射性核種である。

注3) 「\*」は、「検出されず」を示す。

注4) ( ) 内は、検出下限値を示す。

(イ) 放射性ストロンチウム分析 (ストロンチウム 90)

a 陸水 (上水)

単位 : mBq/L

試料名	採取地点名	採取年月日	測定機関	測定値
陸水 (上水)	新神子	R4年 7月 8日	県	* <sup>1)</sup> (0.17) <sup>2)</sup>
			中電	0.31 (0.23)

注1) 「\*」は、「検出されず」を示す。

注2) ( )内は、検出下限値を示す。

b 農畜産物

単位 : Bq/kg 生

試料名	採取地点名	採取年月日	測定機関	測定値
原 乳	菊川市 嶺 田	R4年 7月 20日	県	* <sup>1)</sup> (0.0069) <sup>2)</sup>
			中電	0.019 (0.013)

注1) 「\*」は、「検出されず」を示す。

注2) ( )内は、検出下限値を示す。

c 海産生物

単位 : Bq/kg 生

試料名	採取地点名	採取年月日	測定機関	測定値
しらす	御前崎港	R4年 8月 22日	県	* <sup>1)</sup> (0.016) <sup>2)</sup>
			中電	* (0.034)

注1) 「\*」は、「検出されず」を示す。

注2) ( )内は、検出下限値を示す。

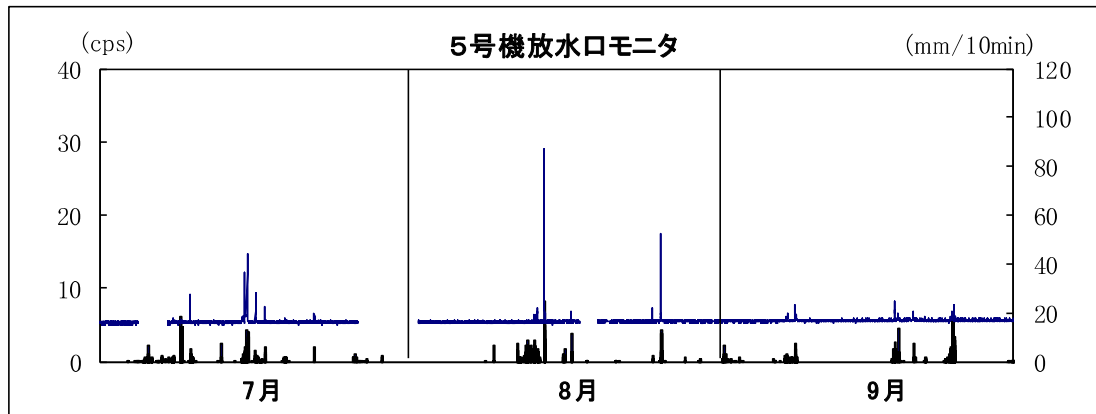
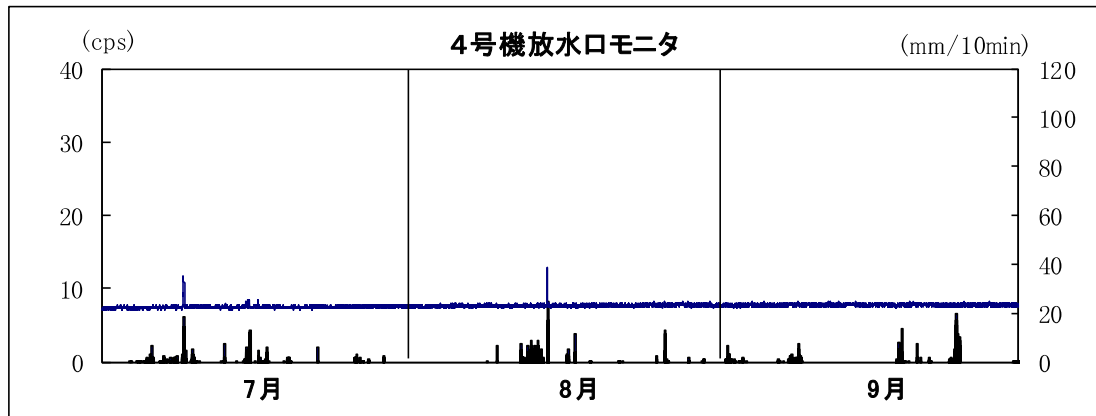
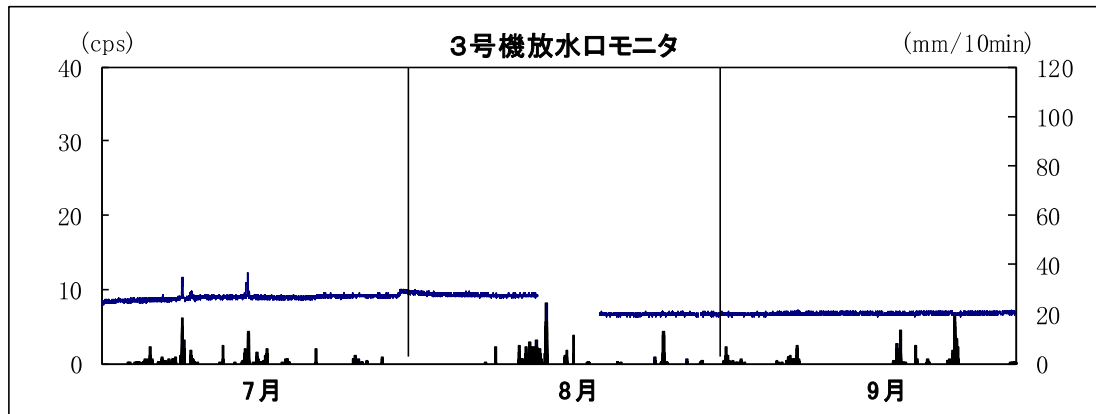
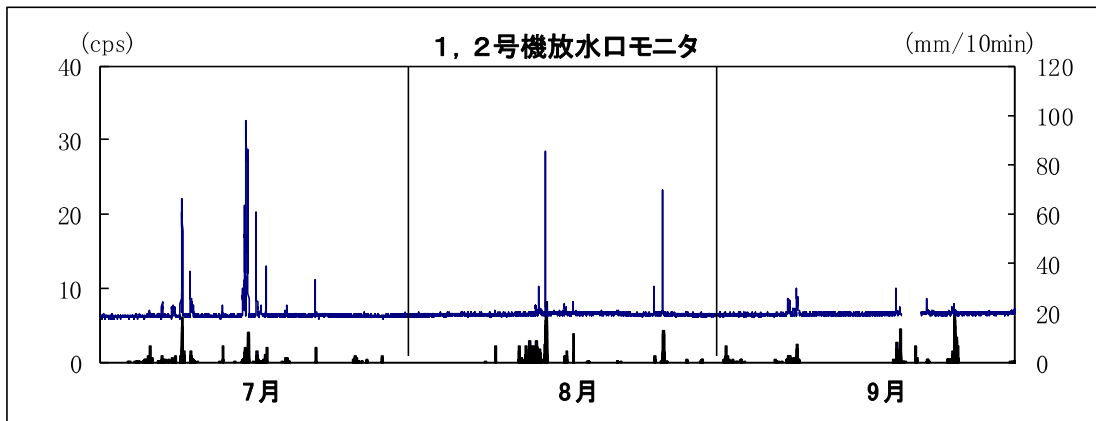
### (3) 排水の全計数率

#### ア 月間測定値

単位：cps

測定地点名	月	平均値	最小値	最大値
1, 2号機放水口モニタ	7月	6.6	5.9	33
	8月	6.6	6.0	29
	9月	6.6	6.1	10
3号機放水口モニタ	7月	8.9	7.9	12
	8月	7.9	6.3	9.8
	9月	6.7	6.3	7.1
4号機放水口モニタ	7月	7.5	7.0	12
	8月	7.7	7.2	13
	9月	7.8	7.4	8.1
5号機放水口モニタ	7月	5.4	5.0	15
	8月	5.5	5.1	29
	9月	5.6	5.2	8.1

イ 全計数率と降雨量の時系列グラフ



※上線は計数率, 下線は降雨量

#### (4) 補足参考測定

##### ア 積算線量

測定期間：令和4年6月16日～9月13日（90日積算）

単位：mGy

測定地点名	測定値	
	県	中部電力
芹沢（御前崎市）	0.14	0.15
西山（御前崎市）	0.14	0.15
上比木（御前崎市）	0.15	0.16
合戸東前（御前崎市）	0.15	0.15
門屋石田（御前崎市）	0.15	0.15
中尾（御前崎市）	0.17	0.17
朝比奈原公民館（御前崎市）	0.14	0.15
旧地頭方中学校（牧之原市）	0.15	0.15
菅山保育園（牧之原市）	0.14	0.15
鬼女新田公民館（牧之原市）	0.14	0.15
千浜小学校（掛川市）	0.15	0.16
東小学校（菊川市）	0.14	0.15

イ 環境試料中の放射能  
(7) 機器分析 (γ線放出核種)

a 降下物

単位：Bq/m<sup>2</sup>

採取地点名	採取期間	測定機関	<sup>60</sup> Co	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	その他 <sup>1)</sup>	<sup>7</sup> Be <sup>2)</sup>
御前崎市 池新田	R4年7月1日 ～R4年7月31日	県	* <sup>3)</sup> (0.064) <sup>4)</sup>	*	*	*	332 (5.4)
		中電	*	*	0.043 (0.041)	*	362 (4.9)
	R4年8月1日 ～R4年8月31日	県	*	*	*	*	166 (3.8)
		中電	*	*	*	*	163 (3.5)
	R4年9月1日 ～R4年10月2日	県	*	*	*	*	134 (3.4)
		中電	*	*	*	*	153 (3.4)

注1) 「その他」は、コバルト60、セシウム134及びセシウム137以外の人工放射性核種を示す。

注2) ベリリウム7は、自然放射性核種である。

注3) 「\*」は、「検出されず」を示す。

注4) ( )内は、検出下限値を示す。

b 指標生物 (松葉)

単位：Bq/kg 生

試料名	採取地点名	採取年月日	測定機関	<sup>60</sup> Co	<sup>131</sup> I	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	その他 <sup>1)</sup>	<sup>40</sup> K <sup>2)</sup>
松 葉	御前崎市 池新田	欠測 <sup>3)</sup>	県	—	—	—	—	—	—
			中電	—	—	—	—	—	—
	御前崎市 平場前	R4年9月6日	県	* <sup>4)</sup> (0.039) <sup>5)</sup>	*	*	0.085 (0.027)	*	69.1 (2.0)
			中電	*	*	*	0.083 (0.027)	*	71.8 (1.7)
	御前崎市 白砂	R4年9月6日	県	*	*	*	0.077 (0.026)	*	73.0 (2.1)
			中電	*	*	*	0.077 (0.027)	*	74.2 (1.8)

注1) 「その他」は、コバルト60、ヨウ素131、セシウム134及びセシウム137以外の人工放射性核種を示す。

注2) カリウム40は、自然放射性核種である。

注3) 池新田は、松の高木化により採取が困難であることから中止した。

注4) 「\*」は、「検出されず」を示す。

注5) ( )内は、検出下限値を示す。



c 海水

単位：mBq/L

採取地点名	採取年月日	測定機関	<sup>60</sup> Co	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	その他 <sup>1)</sup>
菊川河口	R4年 8月 2日	県	* <sup>2)</sup> (3.4) <sup>3)</sup>	*	*	*
		中電	*	*	4.0	*
高松沖	R4年 8月 2日	県	*	*	*	*
		中電	*	*	*	*
尾高漁場	R4年 8月 2日	県	*	*	2.1	*
		中電	*	*	3.0	*
中根礁	R4年 8月 2日	県	*	*	2.8	*
		中電	*	*	*	*
御前崎港	R4年 8月 2日	県	*	*	*	*
		中電	*	*	2.9	*
浅根漁場	R4年 8月 2日	県	*	*	*	*
		中電	*	*	*	*
1,2号機 放水口付近	R4年 8月 2日	県	*	*	*	*
		中電	*	*	*	*
取水口付近	R4年 8月 2日	県	*	*	2.8	*
		中電	*	*	3.3	*
3号機及び4号機 放水口付近	R4年 8月 2日	県	*	*	*	*
		中電	*	*	*	*
5号機放水口付近	R4年 8月 2日	県	*	*	*	*
		中電	*	*	*	*

注1) 「その他」は、コバルト60、セシウム134及びセシウム137以外の人工放射性核種を示す。

注2) 「\*」は、「検出されず」を示す。

注3) ( )内は、検出下限値を示す。

## (イ) トリチウム分析

### 大気中水分

採取地点名	採取期間	測定値(Bq/L) (捕集水中トリチウム濃度)	測定値(Bq/m <sup>3</sup> ) (大気中トリチウム濃度)
御前崎市 白砂	R4年7月1日～R4年7月31日	0.40 (0.34) <sup>1)</sup>	0.0084 (0.0073)
	R4年8月18日～R4年8月31日	0.55 <sup>2)</sup> (0.34)	0.013 <sup>2)</sup> (0.0080)
	R4年9月1日～R4年10月2日	0.52 (0.34)	0.0100 (0.0066)
御前崎市 中町	R4年7月1日～R4年7月31日	0.80 (0.48)	0.0087 (0.0053)
	R4年8月1日～R4年8月31日	0.60 (0.48)	0.0065 (0.0052)
	R4年9月1日～R4年10月2日	* <sup>3)</sup> (0.47)	* (0.0048)
御前崎市 平場	R4年7月1日～R4年7月31日	* (0.34)	* (0.0071)
	R4年8月1日～R4年8月31日	0.41 (0.34)	0.0092 (0.0077)
	R4年9月1日～R4年10月2日	0.65 (0.35)	0.013 (0.0071)
御前崎市 上ノ原	R4年7月1日～R4年7月31日	0.50 (0.47)	0.0073 (0.0069)
	R4年8月1日～R4年8月31日	* (0.48)	* (0.0069)
	R4年9月1日～R4年10月2日	* (0.49)	* (0.0053)

注1) ( )内は、検出下限値を示す。

注2) 捕集カラムの破損があり、カラムを交換して8月18日から捕集を再開したため、参考値とする。

注3) 「\*」は、「検出されず」を示す。

(5) バックグラウンド測定  
ア 機器分析（ $\gamma$ 線放出核種）

土 壤

単位：Bq/kg 乾土

採取地点名	採取年月日	測定機関	$^{60}\text{Co}$	$^{134}\text{Cs}$	$^{137}\text{Cs}$	その他 <sup>1)</sup>	$^{40}\text{K}$ <sup>2)</sup>
掛川市 掛川市役所大東支所	R4年 7月 11日	県	* <sup>3)</sup> (0.85) <sup>4)</sup>	*	14.7 (1.4)	*	530 (31)
		中電	*	*	13.8 (1.4)	*	540 (31)

注1) 「その他」は、コバルト 60、セシウム 134 及びセシウム 137 以外の人工放射性核種を示す。

注2) カリウム 40 は、自然放射性核種である。

注3) 「\*」は、「検出されず」を示す。

注4) ( ) 内は、検出下限値を示す。

イ 放射性ストロンチウム分析（ストロンチウム 90）

土 壤

単位：Bq/kg 乾土

採取地点名	採取年月日	測定機関	測定値
掛川市 掛川市役所大東支所	R4年 7月 11日	県	* <sup>1)</sup> (0.13) <sup>2)</sup>
		中電	0.24 (0.18)

注1) 「\*」は、「検出されず」を示す。

注2) ( ) 内は、検出下限値を示す。

ウ トリチウム分析

海 水

単位：Bq/L

採取地点名	採取年月日	測定機関	測定値
浅根漁場	R4年 8月 2日	県	* <sup>1)</sup> (0.34) <sup>2)</sup>
		中電	0.49 (0.47)
御前崎港	R4年 8月 2日	県	* (0.33)
		中電	* (0.48)

注1) 「\*」は、「検出されず」を示す。

注2) ( ) 内は、検出下限値を示す。

## エ プルトニウム分析（プルトニウム 238、プルトニウム 239+240）

### 土 壤

単位：Bq/kg 乾土

採取地点名	採取年月日	核種	測定機関	測定値
掛川市 掛川市役所大東支所	R4年 7月 11日	Pu-238	県	* <sup>1)</sup> (0.0038) <sup>2)</sup>
			中電	* (0.0044)
		Pu-239+240	県	0.028 (0.016)
			中電	0.068 (0.025)

注1) 「\*」は、「検出されず」を示す。

注2) ( )内は、検出下限値を示す。

付表 測定器の種類

測定項目		測定機関	測定器	直近点検年月	
空間放射線量	線量率	県	NaI(Tl)型空間ガンマ線測定装置 ：日立アロカメディカル(株)製 エネルギー特性補償型 (2局は方向特定可能型)	R4年6月～ R4年7月	
		中電	NaI(Tl)型空間ガンマ線測定装置 ：日立アロカメディカル(株)製 エネルギー特性補償型	R4年5月～ R4年6月	
	積算線量	県	蛍光ガラス線量計素子：AGCテクノグラス(株)製 SC-1 蛍光ガラス線量計読取装置：AGCテクノグラス(株)製 FGD251	R4年8月	
		中電	蛍光ガラス線量計素子：AGCテクノグラス(株)製 SC-1 蛍光ガラス線量計読取装置：AGCテクノグラス(株)製 FGD-201	R4年2月	
環境試料中の放射能	全α放射能・ 全β放射能	県	ZnS(Ag)＋プラスチックシンチレータ型アルファ線・ベータ線 同時測定装置：応用光研工業(株)製 S-2868SIZ	R4年8月	
		中電	ZnS(Ag)＋プラスチックシンチレータ型アルファ線・ベータ線 同時測定装置：日立アロカメディカル(株)製 ADC-2121	R4年6月	
	γ線 放出核種	県	波高分析装置（検出器／波高分析器） ：キャンベラ製 GC4018／キャンベラ製 Lynx ：キャンベラ製 GC4519／キャンベラ製 Lynx ：キャンベラ製 GC4019／キャンベラ製 Lynx ：キャンベラ製 GX4018／キャンベラ製 Lynx ：キャンベラ製 GC4018／キャンベラ製 DSA-1000	R3年10月	
		中電	波高分析装置（検出器／波高分析器） ：セイコーEG&G GEM-40-83／セイコーEG&G MCA-7600 ：セイコーEG&G GEM-40-S／セイコーEG&G MCA-7600	R3年4月 R3年6月	
	ストロンチウム90	県	低バックグラウンドガスフロー測定装置 ：(株)日立製作所製 LBC-4611 ：キャンベラ製 LB4200（委託先設備）	R4年2月 R4年4月	
		中電	低バックグラウンドガスフロー測定装置 ：日立アロカメディカル(株)製 LBC-4302B	R3年12月	
	トリチウム	県	低バックグラウンド液体シンチレーション測定装置 ：(株)日立製作所製 LSC-LB8	R4年3月	
		中電	低バックグラウンド液体シンチレーション測定装置 ：日立アロカメディカル(株)製 LSC-LB5	R4年6月	
	プルトニウム	県	シリコン半導体検出器 ：キャンベラ製 Alpha Anaiyst（委託先設備）	R4年4月	
		中電	シリコン半導体検出器 ：ORTEC 製 BU-020-450-AS（委託先設備）	R3年7月	
	排水の全計数率		中電	1,2号機放水口モニタ（検出器）：富士電機株式会社製 NDS3ABB2-AYYY-S 3号機放水口モニタ（検出器）：東芝エネルギーシステムズ(株)製 HNB712 4号機放水口モニタ（検出器）：東芝エネルギーシステムズ(株)製 HNB712 5号機放水口モニタ（検出器）：東芝エネルギーシステムズ(株)製 HNB712	R4年1月 R4年9月 R3年2月 R1年9月

## 2 平常の変動幅の上限逸脱に係る原因調査報告（空間放射線量率）

令和4年7月15日、旧監視センターモニタリングステーション（以下「MS」という。）の空間放射線量率の値が、一時的に平常の変動幅の上限を超過した。

原因調査の結果、人工放射性核種の影響ではなく、降雨による自然変動（自然放射線の変動）と推定するに至った。

### 1 測定結果

表1及び図1のとおり、令和4年7月15日11時50分、旧監視センターMSで測定した空間放射線量率が、10分間平均値の平常の変動幅の上限を超過した。

なお、1時間平均値については超過しなかった。

また、図2のとおり、他の近隣MSも同様の時間帯に類似の上昇が見られたが、平常の変動幅の上限は超過しなかった。

### 2 原因調査

#### (1) 発電所内エリアモニタリング設備等の異常の有無

テレメータシステムで収集している発電所敷地境界モニタリングポスト、排気筒モニタ及び放水口モニタの当該時間帯の空間放射線量率及び計数率を確認したところ、平常の変動幅を超過する数値は計測されなかった。

また、その他エリアモニタリング設備（格納容器雰囲気モニタ、燃料交換エリア換気モニタ等）に異常はなかった。

#### (2) 自然放射性核種の変動

旧監視センターMSは、同時時間帯に降雨が計測され、そのことによる影響で空間放射線量率が上昇したと考えられる時系列変化を示していた（図1）。

他の近隣MSも同様の傾向で、御前崎市内で広く降雨があり、そのために空間放射線量率が上昇したと考えられた（図2）。

また、旧監視センターの線量率トレンドグラフを確認したところ、天然放射性核種（U系列）の値が上昇していた（図3）。

よって、今回の空間放射線量率上昇は降雨による影響と推定された。

#### (3) 周辺環境の変化

現地の周辺環境を監視カメラの映像により確認したところ、降雨以外に空間放射線量率の上昇に寄与するような環境の変化は認められなかった。

### 3 結論

令和4年7月15日に旧監視センターMSの空間放射線量率における平常の変動幅の上限を超過した原因は、降雨による自然変動（自然放射線の変動）によるものと推定された。

表 1 空間放射線量率 (10 分間平均値)

単位：nGy/h

測定地点	空間放射線量率 (日時：7月15日 11時50分)	平常の変動幅
旧監視センター	78	39~77

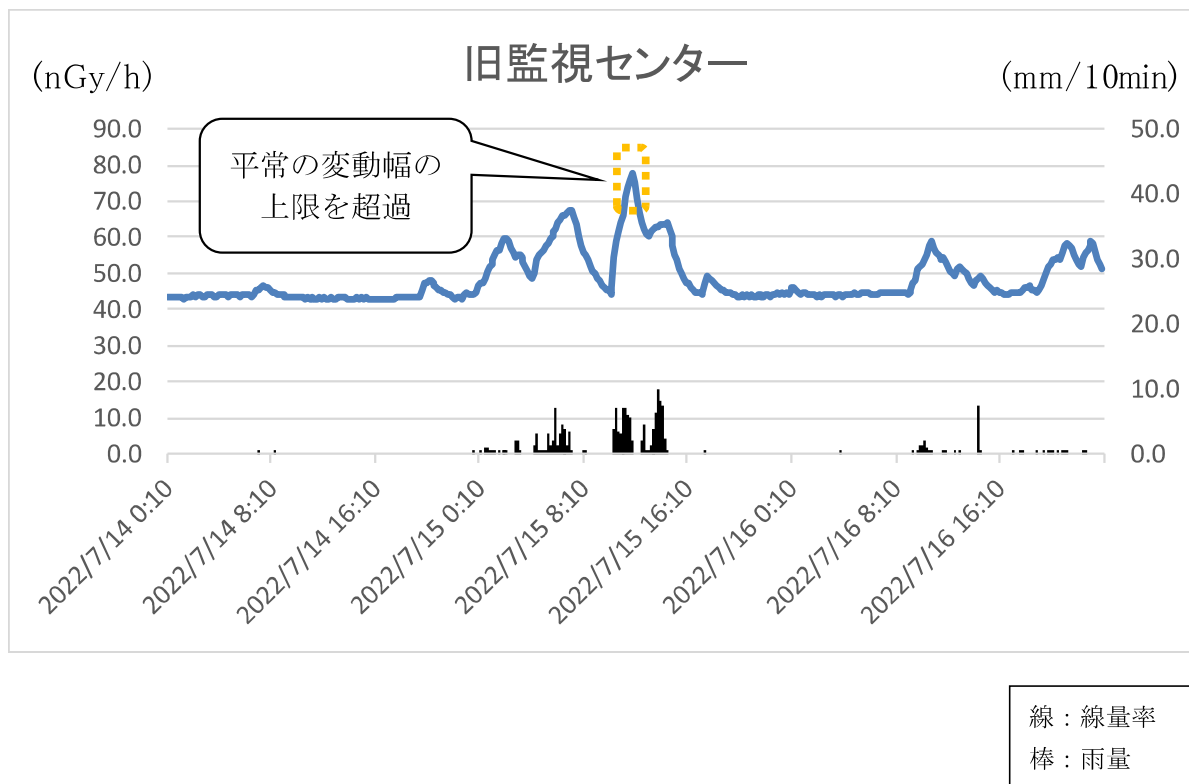


図 1 空間放射線量率及び雨量の時系列変化 (旧監視センターMS)

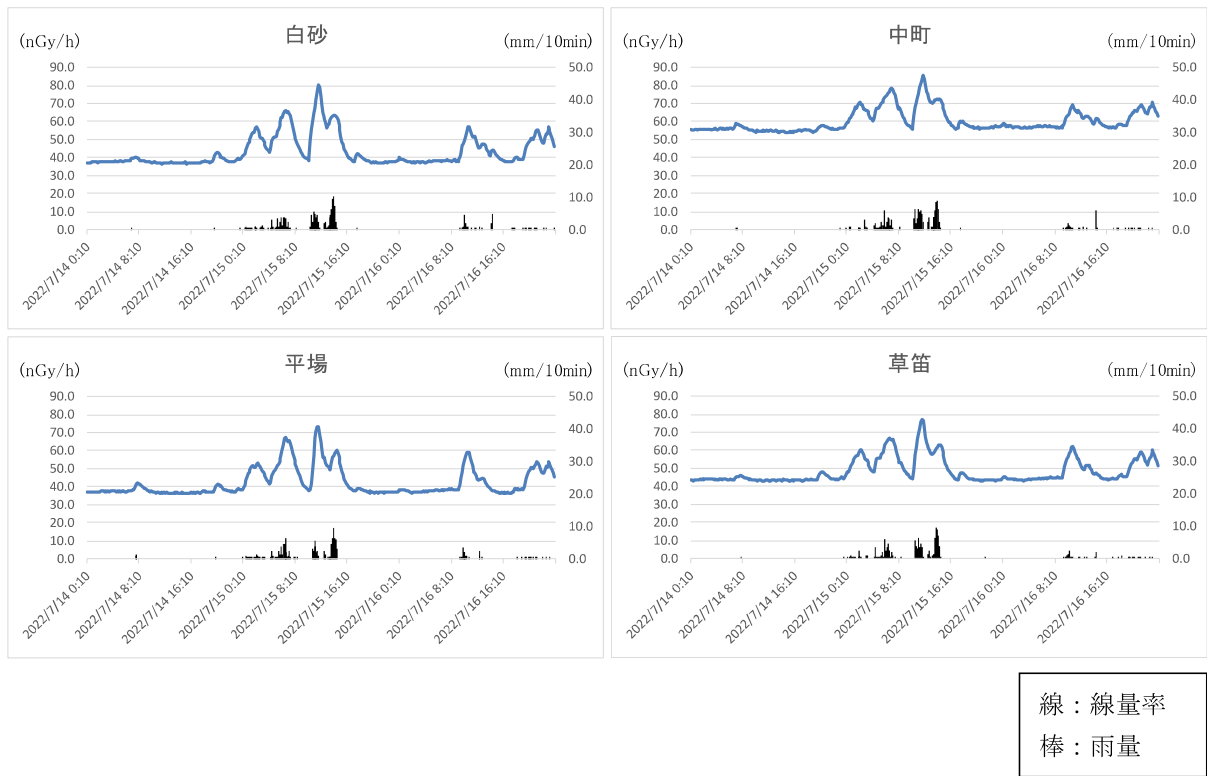


図2 空間放射線量率及び雨量の時系列変化（旧監視センターの近隣MS）

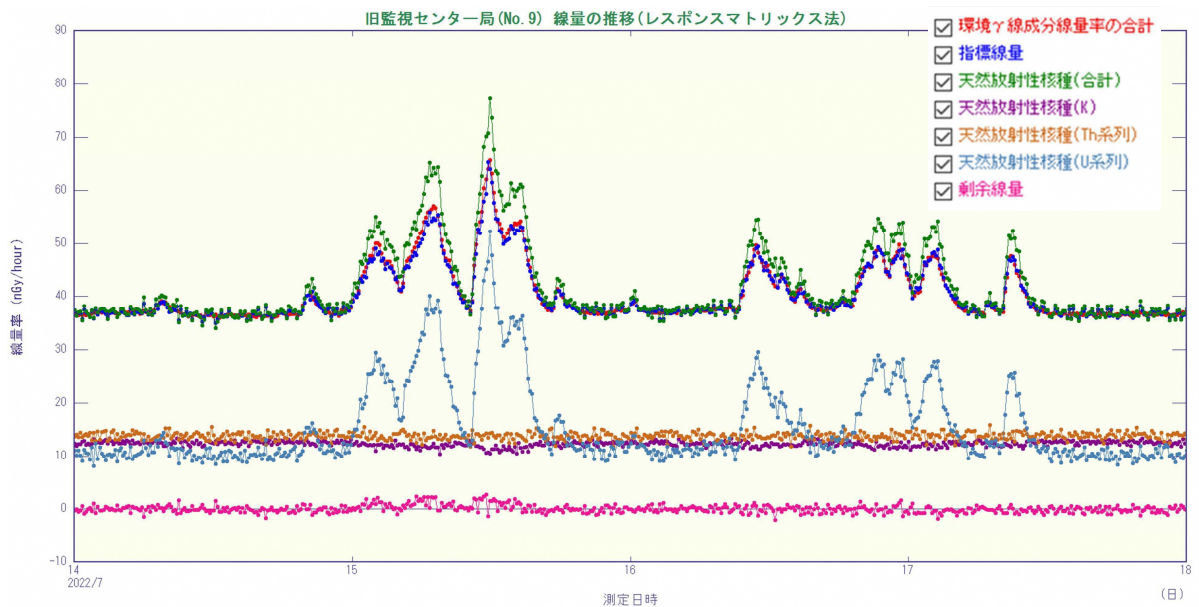


図3 線量率トレンドグラフ